

質問・意見への回答 令和2年9月18日（下諏訪老人福祉センター）

【 】書きのないものは、長野国道事務所が回答

質問・意見	回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・アクセス道路も、バイパス開通と同時に開通できる様お願い致します。計画決定後は、早めの開通に向け御努力して下さる様希望いたします 	<p>○できるだけ早期開通できるよう、努めてまいります。引き続き、事業へのご理解とご協力、よろしくお願いいたします。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・142号との取付について。 	<p>○国道142号の道路線形については、周辺の皆様方に極力、影響が生じないよう見直しを行いました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・諏訪バイパスが本当に必要なのか、まだ納得がいかない。すでに存在している林道や、中央自動車道西宮線を利用するなど、今あるものを活かす方法は何かないのだろうか。「今ある問題だけに注視している案」そのような印象を受ける。 	<p>○一般国道20号諏訪バイパスについては、諏訪地域とその周辺地域における交通混雑の緩和や、交通安全の確保、並びに諏訪湖の溢水が原因となる道路冠水による交通不能箇所を解消することを目的とした必要な道路です。</p> <p>○諏訪バイパスの整備効果としては、現道の交通がバイパスに転換することによる交通混雑の緩和、交通事故の減少、また、集中豪雨等が発生し現道が通行止になった場合の地域分断・孤立の解消、及び地域産業の活性化や医療機関までの搬送時間短縮等が期待されており、平成25年度より実施した計画段階評価においても、道路の必要性について確認しています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・専門用語が多く、図も全体との位置関係などが不明で、分かりにくいものでした。 ・説明会は、意見の交換が参加者や住民に公開されることで意味のあるものとなると考えます。個別の回答などあるのはありがたいですが、公開を（工夫して）徹底していただきたいと考えます。 ・48年前と環境、産業、交通の状況は変化しており、その折に決まった計画を実施することに疑問があります。バイパスの効用について（具体的に）詳細な説明をお願いします。 ・今後、環境への影響も説明を詳細にしてもらいたいです。（本日はその目的ではないと思いますが） ・事業を計画されている方の一部、居ねむりなどされており、残念です。 	<p>○ホームページでの回答を希望された質問・意見については、内容が重複するものも含め、すべて公開しています。なお、個別の回答を希望された方には電話での回答を原則としており、ホームページへの掲載は予定していません。</p> <p>○諏訪バイパスの整備効果としては、現道の交通がバイパスに転換することによる交通混雑の緩和、交通事故の減少、また、集中豪雨等が発生し現道が通行止になった場合の地域分断・孤立の解消、及び地域産業の活性化や医療機関までの搬送時間短縮等が期待されており、平成25年度より実施した計画段階評価においても、道路の必要性について確認しています。</p> <p>○環境影響評価法に基づき、各省令、及び技術手法等も参考に、自然環境への影響について調査、予測及び評価を行っており、その結果については、環境アセス説明会で説明させていただく予定です。</p> <p>○専門用語の多用や、関係者の対応に関しては、今後の説明会等において、進行に支障が生じることのないよう、周知徹底を図ってまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・不要・必要なのか、住民が検討する、考える機会がないまま推進されているような気がします。水質や環境に、影響がないのか隅からすみまで検討して頂ければと思います。 ・神社や史跡が数多く残る地域です。縄文文化や諸々のブームもあるかと思いつつ様々な条件で、住民にも考える機会を与えて下さい。 ・ありがとうございます。県や事務所の方々が地域住民とコミュニケーションを取ろうとなさらない（発言や質疑の時間がない）のが新鮮でした！ 	<p>○平成25年から実施した計画段階評価において、アンケート等により住民の皆様のご意見をお聞きしながら進めてまいりました。なお、今後、公聴会や各段階における説明会においても、皆様方からご意見等を伺う予定です。</p> <p>○環境影響評価法に基づき、各省令、及び技術手法等も参考に、地下水等に係る自然環境への影響について調査、予測及び評価を行っており、その結果については、環境アセス説明会で説明させて頂く予定です。</p> <p>○本来であれば、直接皆様方からの質問・意見に対し、お答えしたいところでしたが、今回の説明会については、新型コロナウイルスの感染防止に十分配慮し、実施いたしました。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。</p>

質問・意見への回答 令和2年9月18日（下諏訪老人福祉センター）

【 】書きのないものは、長野国道事務所が回答

質問・意見	回 答
<p>1. 計画の古さによる都市計画の陳腐化 昭和47年の都市計画決定から48年。現在は人口減少等々により交通量が減少。この先、完成は更に数十年後？と思われる。更に交通量は減少する。北海道では新設した高規格道路において、通行量が少なく熊が歩くための道路と揶揄されて報道されている、これと同様である。一度決定されたことについて社会・環境変化に鑑み、見直しをしない行政の前例主義に辟易。収益がマストの企業活動のように、ニーズのないものは見直しや廃止の論理に至らないのか。◎方策：20号諏訪バイパス建設は見直し、白紙・中止とする。①現状の20号の諏訪市から岡谷インターチェンジまでの区間の各交差点の周辺一部を買収し「右折レーン」を設ける。現状は右折車による交通渋滞がほとんどであり上記でこれを解消す。②諏訪市内のJR踏み切り2か所を立体交差にする。◎効果①バイパス工事に比して何百、何千分の一の建設費用で済む。②諏訪バイパス完成後の維持・管理費用が不要。</p> <p>2. トンネル掘削の残土処理②埋立てまたは盛土の候補地は決まっているのか。②埋立てまたは盛土の災害を懸念する。盛土のすべり、豪雨による土石流等は完璧な防止が図れるのか。また景観の維持は。</p> <p>3. 地下水変化の懸念 北陸新幹線のトンネル掘削により飯山市周辺では水脈が変化し、地盤変化・沈下による家屋のゆがみ、壁のひび割れ、各種構築物の変形が広範囲に多数発生した。これは何回も大きく報道され記憶に新しい。このことは土木工学上では予見できない影響が出現するということの証左である。</p> <p>4. 説明会の仕方 今回の説明会会場で質問及び意見を口頭で受け付けない方式。質問票の提出のみである。①そうであるならば、説明画面の資料を全戸配布しパブリックコメントを募集すれば済むことだ。②「説明会」、「公聴会」開催の意義は、住民が主催者から計画の意図と内容を直接聞き、それに対し参加者の質問・意見を直接吸い上げて「民意」と捉えたり、雰囲気を読み取ったりするのが行政の進め方ではないのか。③質問・意見を聞かないのであれば、回答する担当者は不要。よって説明会の演壇上に国道事務所や県、及び諏訪建設事務所などの担当が仰々しく並ぶ必要は全くない。出張交通費も使って。今回の説明会は、「質問や意見の公開や顕在化・拡散を防ぎ混乱回避のため」ととられても仕方ない。国、県、町のご都合主義。また説明会を報道機関に非公開としたこともまったく理解不能である。結果、住民を愚弄していると思えない。</p>	<p>○一般国道20号諏訪バイパスについては、諏訪地域とその周辺地域における交通混雑の緩和や、交通安全の確保、並びに諏訪湖の溢水が原因となる道路冠水による交通不能箇所を解消することを目的とした必要な道路です。</p> <p>○諏訪バイパスの整備効果としては、現道の交通がバイパスに転換することによる交通混雑の緩和、交通事故の減少、また、集中豪雨等が発生し現道が通行止になった場合の地域分断・孤立の解消、及び地域産業の活性化や医療機関までの搬送時間短縮等が期待されており、平成25年度より実施した計画段階評価においても、道路の必要性について確認しています。</p> <p>○トンネル発生土については、他の公共事業等において有効利用することを基本としていますが、公共事業での利用が困難な場合には、有償での処分を検討してまいります。</p> <p>○環境影響評価法に基づき、各省令、及び技術手法等も参考に、地下水等に係る自然環境への影響について調査、予測及び評価を行っており、その結果については、環境アセス説明会で説明させて頂く予定です。</p> <p>○本来であれば、直接皆様方からの質問・意見に対し、お答えしたいところでしたが、今回の説明会については、新型コロナウイルスの感染防止に十分配慮し、実施いたしました。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。</p> <p>○ご意見を踏まえ、9月16日の説明会より、登壇する職員を最小限に見直しました。</p>
<p>・バイパスを通った車が下諏訪町東町で142号線に入り横町木の下等へ、又、春宮上の道へ入ってくる事も予想される。どちらの道も狭い為交通量が増えると地元町民の安全性が危惧されるが、道路巾拡幅や歩道設置などの対応は考えていますか。</p> <p>・トンネル掘削による大量の土砂の行方は。又その土砂運搬のダンプの通行量はどれくらいを想定していますか。</p>	<p>○諏訪バイパス開通後に周辺の交通の変化等を把握し、必要に応じて関係機関と調整してまいります。</p> <p>○トンネル発生土については、他の公共事業等において有効利用することを基本としていますが、公共事業での利用が困難な場合には、有償での処分を検討してまいります。</p> <p>○なお、ダンプの通行量については、環境アセスの説明会で説明させて頂く予定です。</p> <p>【長野県】</p> <p>○現時点においては、岡谷インターチェンジから来る車両については、県が整備を予定している都市計画道路赤砂東山田線から、街中におけることを想定しています。</p>
<p>・トンネル工事につきましては、とにかく自然保護を主に決して水枯れ等が起きる事のない様確約をお願いします。</p>	<p>○環境影響評価法に基づき、各省令、及び技術手法等も参考に、地下水等に係る自然環境への影響について調査、予測及び評価を行っており、その結果については、環境アセス説明会で説明させて頂く予定です。</p>
<p>・一般道との接続について質問します。町道御射山道線との接続についてですが、現状の町道拡幅等がありますか。他の場所に比べて説明が少ないように思えます。町道の幅員、構造を考えると整備していただきたいです。</p>	<p>【下諏訪町】</p> <p>○町道御射山道線については都市計画道路の設定をしており、今後、道路幅員等の検討を行ってまいります。</p>
<p>・全体スケジュールの概用を示して欲しい。計画～着工～完成迄の予定年度。or目標</p>	<p>○できるだけ早期開通できるよう、努めてまいります。引き続き、事業へのご理解とご協力、よろしくお願いいたします。</p>